

# 研究テーマ：Weblog を用いた授業用 e - ラーニング統合ポータルサイトの開発

研究代表者（職氏名）：准教授 宇野健

所属：経営情報学部経営情報学科

共同研究者（職氏名）：准教授 陳春祥，講師 佐々木宣介，教授 盛岡良雄

## 1. はじめに

現在、様々な e ラーニングシステムが開発・運用されているが、大学教育においては、学生のモチベーションの維持や、教員のコンテンツ作成の負担などの問題が指摘されている。

そこで、利用者の ICT スキルを問わない授業情報の送受信システムの開発をおこなった。各授業はインターネット上で日記としてよく用いられる Weblog（以降、ブログ）を用いて授業内容のコンテンツや情報を発信する。また、学生側の情報アクセスを容易とするために、学生用の個人ポータルサイトを構築した。特にユーザビリティを重視することで、教員の情報発信の負担を軽減し、学生の利用率の向上を図ることを目的とした。また、実際に経営情報学科の授業において運用実験をおこない、その利用状況を調査した。

## 2. システムの概要

システムは、各授業のブログ管理システムと、学生個人用のポータルサイト管理システムからなる。双方とも、多機能・高機能よりも、取っ付き易さ・使い易さに重点を置いて開発をおこなった。そのため、シンプルで使い勝手に優れたインターフェースの開発に重点を置いた。

## 3. 授業用ブログ



Fig.1 授業用ブログ（プログラミング I）

このシステムは、経営情報学部全体を対象としているため、対象はコンピュータやソフトウェアの扱いに慣れている教員だけではない。そのため、誰でも容易に情報発信を可能とするために、既存の CMS を、機能の限定・インターフェースの簡素化などに重点を置いてカスタマイズした。

教員側からの情報発信だけでなく、投稿記事に対する学生のコメントも可能とした。授業では聞けなかった質問等が容易にできる上、同じ質問への対応が不要となる。

## 4. 学生個人用ポータルサイト

学生が多くの授業ブログに対して、効率的にアクセスするためのポータルサイトを開発した。各学生が個別のページをもつことができる。Web 上で自分の時間割を作るだけで、履修しているブログへ、ワンクリックでアクセスすることが可能となる。時間割作成機能、RSS による更新情報のリアルタイム取得、各種情報（休講・補講・試験など）の一覧表示、メールの転送設定、簡単な週間スケジュール機能などの機能を実装した。



Fig.2 学生用個人ポータル

## 5. 運用実験とアンケート調査

平成 18 年 10 月 1 日よりシステムの運用実験をおこなった。対象学生は、経営情報学科 2 年生であり、対象学生のみが受講可能な 11 の講義について、授業ブログを稼働させた。

学生の意見を取り入れるためのアンケートを、運用実験開始前の平成 18 年 8 月 7 日と開始後の平成 18 年 12 月 8 日の 2 回おこなった。システム開発における方向性の確認を目的とした運用開始前の第一回目のアンケートでは、良い評価が大半を占め、本システムへの期待も高いことが分かった。

ユーザビリティ・機能性の確認を目的とした開始後の第二回目のアンケートでは、半数程度の学生から良い評価を得ることができた。しかし、“学外からのアクセスができない” = “使いにくい” と回答した学生も多く、インターフェースの操作性の問題なのか、学外アクセスの可否の問題なのかが判別ができなかった。また、この時点では教員側からの情報発信もさほど多くなく、講義ブログから発信される情報の増加を求める意見が多く見られた。

## 6. 現状と今後の予定

今後の課題として、アンケートでの主要意見である学外からのアクセスや、それを考慮したセキュリティの強化、教員がブログを効率的に管理するための教員用ポータルサイトの構築などがあげられる。それらを含めて、今後も学生や教員の意見を積極的に取り入れ、システムを改良していく。